



つなぐくん こころちゃん



(版画、題字
角田 正雄書
春木町)



あけましておめでとうございます。
本年もよろしくお願ひ申し上げます。

- P2 ・会長あいさつ
- P3 ・助け合い推進大会
 - ・青少年赤十字交流会
 - ・須坂市民協OB会より
- P4 ・小中ボラ閉幕
- P5 ・ボランティア市民活動交流会
 - ・社会人ボランティア講座

社協では毎年、ひとり暮らしの高齢者世帯へ、ボランティアの皆様にご作成していただいた絵手紙の年賀状をお届けしています。

ご協力いただいた皆様方、ありがとうございました。



2017 **1**

新春のごあいさつ

社会福祉法人須坂市社会福祉協議会

会長 植木 新一



皆さま、あけましておめでとございませう。お健やかに新年をお迎えのことと存じます。日頃から須坂市社会福祉協議会にご理解、ご協力、ご支援を賜りまして誠にありがとうございます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

昨年を振り返りますと、4月に熊本県の大震災、8月の台風10号による大災害、11月には鳥取県中部地震と福岡県で市街地の道路の陥没、ライフラインの敷設工事の老朽化などがありました。多くの災害、事故、事件で行先が心配になりました。

元気をもらったのは、リオデジャネイロオリンピック、パラリンピックでの日本人選手の活躍でした。勇気と感動をもらい、災害続きの中で喜びもひとしおでした。

本会事業におきましては、『第3次須坂市地域福祉活動計画』の初年度に当たるため、それに基づいて活動をしています。

そんな中「助け合い推進会議」「生活支援ネットワーク会議」「サロン代表者会議」等々で課題として挙がって来たのは、『どこかに行きたくても移動手段がない』という事でした。社協は以前から移送サービスを展開していますが、利用するには条件があります。どなたでも利用できるようになるには、地域の方々や、ボランティアさんの協力が頼みの綱になってきます。

これからは移動手段のみならず、生活全般において、ますます『互助』地域の力が必要になって来ます。少子高齢化の進む中で、ご近所の助け合いが不可欠です。例えば地域が一つの家とした場合、一軒一軒が家族の一員と考えていただければ…どうでしょうか。家の中で、誰かが困っていれば、他の家族が手を差し延べてくれる…そんなちよつとした家族的な気遣いが、地域を支えて行ってもらえるのではないかと思います。

一方、少子高齢化の一助として、平成26年の10月に開設しました『結婚相談所』は、徐々に成果がでてきており、昨年末現在で、7組のカップルが成婚となっています。

さらに、4月からは須坂市の『総合事業』の開始に伴い、介護保険事業では委託を受けた事業等に取り組んでおります。これもまた、地域の力を発揮いただくための、入り口の事業になります。他に、訪問介護・訪問入浴介護・居宅介護支援（2カ所）・通所介護（一般型2カ所・認知症対応型1カ所）・地域密着型特別養護老人ホーム（シヨートステイ併設型）等を展開しております。

介護保険事業は今後も制度改正に伴う報酬単価の見直しで厳しい運営を余儀なくされませんが、地域福祉との両輪で「セイフティーネット」としての使命を果たすべく、職員一丸となって取り組んでまいります。引き続き市民の皆さまの一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様のご多幸とご健勝そして、災害の無い年でありますようご祈念いたしましたして、年頭の挨拶とさせていただきます。



助け合い推進大会

「助けて」といつてみよう！
 ・その一言で助け合いがはじまる・・・
 平成29年2月11日(土)
 午後1時〜 メセナ小ホール

オープニング

和太鼓衆 吞舞楽鼓

福祉貢献者表彰

講演会

「津波の教え、語り継ぐ」
 講師 南三陸町語り部
 後藤一磨 氏

「津波が何を教えてくれたのか。それを伝えることが、残されたものの役目です。」
 3月11日、経験したことはない大きな揺れを感じ「必ず津波がくる。」と直感した。急いで帰宅し、妻子を連れて自宅裏の高台に逃げて間もなく大津波が押し寄せた。
 自宅のかやぶき屋根が引き波に乗って島の向こうに

— 昨年のオープニング —



消えていくのをぼうぜんと眺めた〜
 詳細は次号でお知らせします。
 どうぞ皆様お誘い合わせの上お出かけください。
 主催 助け合い推進会議 (事務局)
 須坂市社会福祉協議会

青少年赤十字小中交流会 開催

12月10日に相森中学校で、『青少年赤十字北信支部小中交流会』が開催されました。

この交流会は、災害への心構えや他者との協力について学ぶことを目的に毎年開催されています。今年も市内各校の小中学生63名が集まりました。

当日は、防災に関わる講演会や救急法、フリーストライの試食のほか、日赤須坂市地区では、炊き出しを一緒に行的非常食作りを体験しました。



初めてハイゼックスの袋に触れる小中学生は緊張の面持ちで、袋に無洗米とだし汁を丁寧に詰めました。炊き上がった熱々の非常食を食べると、「美味しい！」と声が上がりました。



なお、日赤須坂市地区では、炊き出し体験の他にもAEDや三角巾などを使った救急法などの講習会も開催しています。予約は開催時期の2か月前までです。是非、ご利用ください。
 (お問合せ ☎ 026-1214-2997 まで)

熊本地震災害義援金報告

12月15日までの義援金受付状況です。

2, 560, 361円

- ・豊洲地域づくり推進委員 (敬省略)
 - ・屋部町公民館
 - ・長印須坂青果市場
- お問合せ ☎ 026-214-2997

献 血 情 報

日 時	1月23日(月) 午前9時30分〜11時30分
場 所	須坂市保健センター
日 時	1月23日(月) 午後3時30分〜4時30分
場 所	JA須高豊洲支所
日 時	2月14日(火) 午後1時30分〜3時30分
場 所	高甫地域公民館

小中学生ボランティア体験教室が閉講しました

小5〜中3まで43名（男9名・女34名）が集まり様々なボランティア体験をしました。

■開講式&ゲーム

これから体験を共にする仲間たちと初顔合わせ。ゲームをしたり宿泊体験の係分担を決めたり、次回の保育園体験に向けて日野保育園の園長先生にお話をいただきました。

■宿泊体験

今回のテーマは「食について考えよう」でした。1日目は、よつと蔵いの方におやきとひんのべの作り方を教えてもらいました。おやきを包む作業に苦戦しながらも、いろんな種類のおやきとフクフク♪美味しいおやきとひんのべを堪能しました。



翌日は須坂市の備蓄食のアルファームとサバイバルフーズを試食しました。初めて食べる非常食の美味しさにビックリしました。



その後は須坂技術学園に移動してパン作りに挑戦しました。須坂技術学園・さくらの杜の施設見学もさせていただきました。手作りの美味しいパンを食べながら体験2日間を終えました。



■保育園の先生体験

今回は園児さんがいつも食べている給食と一緒に食べさせてもらいました。先生方の園児さんとの関わり方から相手の気持ちに寄り添う大切さを学びました。



■ふれあい広場では駄菓子屋と水ヨーヨー釣りをお店！



■ブラインドサッカー体験

視覚障がいのサッカーチーム「F.C.長野RAINBOW」の皆さんにお越しいただきました。アイマスクをしたまま同じ血液型でわかれたり、ボールを蹴ったり、視覚以外の感覚を使った体験にお互いの声掛けなどコミュニケーションの大切さを学びました。



■元青年海外協力隊の方にお越しいただきました。

今回はマレーシア&ルワンダに2年間行かれたお二人の方に活動されたことなどお話を聞きました。マレーシアの料理にも挑戦しました。



とても楽しい最終回になりました



マレーシア「ロティチャナイ」作り♪生地こねこね中

参加者の声

☆いろいろな体験を通して、たくさんの人と出会い、コミュニケーションの大切さを学びました。この経験を活かして将来のことを考えたいです。新しい仲間がたくさん出来て楽しかったです。

参加された皆さんは本当にお疲れさまでした☆今後もお会いを大切に今回の体験で学んだこと・感じた事、大切にしたいです★

ボランティア市民活動交流集会

12月10日(土) 須坂市ボランティア連絡協議会主催のボランティア市民活動交流集会が、シルキー3階で開催されました。

第1部は、「須坂青年会議所」「多機能事業所 もえぎ舎」「れんげつつじの会」の3団体よりボランティア活動内容を発表いただきました。参加者より、「どの発表も地域活動に役立つ活動をされており、内容も教えていただき良かった」と感想がありました。



第2部の講演では「お笑い理学療法士 日向亭葵氏」より、『通常リハビリは、重りや器具を使用するが、関節痛のある方や高齢者の方には、負担のかかる運動。そこで、想像の重りを使い、持ったつもりでリハビリがエアリハ!』と説明がありました。

背中や腕を鍛える簡単な動作を毎日どこでもひとりで継続できるヒントを、落語を交えながら、教えていただきました。

終始笑いの絶えない講演会でした。市内の福祉施設の販売もあり完売になる程の盛況ぶりでした。

募集

社会人ボランティア講座

ボランティアに興味があっても、昼間は仕事でなかなか参加できないという方や、いろんな人と関わってみたいという方必見! みんなでわいわい楽しく活動しませんか?

①「見えない世界を感じてみよう」〜視覚障がい体験〜

日時 平成29年1月14日(土) 10時30分〜12時頃

場所 長野盲学校

内容 卓球や歩行体験をしながら視覚障がいについて一緒に楽しく学びましょう☆

対象 おおね40歳までの方

申込締切 1月10日(火)

社協(214-2994)まで またはラインから



②「手や耳で楽しおあしやベリギヤラリーツアー」

日時 2/5(日) 2/11(土祝) 2/18(土)

事前研修 1/28(土)・1/29(日) 13時〜15時30分

場所 信濃美術館

内容 視覚・聴覚に障がいがある方と一緒に作品鑑賞し、鑑賞のお手伝いをしていただきます。

※作家や作品に関する事前知識は必要ありません。

対象 どなたでも

お申込み 信濃美術館に直接お問い合わせください。

詳細はこちらから



須坂市民協OB会へのお誘い

『須坂市民協OB会』は、毎週ボランティアセンターでひとり暮らしの高齢者の方に『安心コール』を実施しています。

- 民生児童委員を終えられた方々、ぜひ一緒に活動をしませんか。
- 活動日 毎週火曜日と木曜日(当番制で1年に7回から8回ぐらいです)
- 場所 須坂市ボランティアセンター(須坂市社協敷地内)
- 内容 高齢者の方に、安心コールの電話を掛け、孤独感の解消と安否確認をします。
- その他 安心コール利用者交流会 親睦研修会 福祉ボランティア活動に参加講演会等に参加

一緒に活動していただける方は、ご連絡ください。お待ちしております。

お問合せ：須坂市社会福祉協議会 ☎026-214-2994



社協情報掲示板

～生活福祉資金貸付事業～

社協事業情報

社会福祉協議会では、経済的自立や在宅福祉・社会参加の促進を図ることを目的として生活福祉資金貸付事業を行っています。様々な種類の貸付がありますが、進学シーズンに合わせ教育支援資金をご紹介します。

■教育支援資金

- 1.対象となる世帯
世帯の市町村民税納付区分が非課税世帯、均等割世帯、所得割納付額124,000円以内の世帯。
- 2.資金費目と内容

資金費目	貸付限度額	据置期間	償還期間	貸付利息
教育支援費	高等学校(専修学校高等課程含む) ⇒月額35,000円以内 高等専門学校 ⇒月額60,000円以内 短期大学(専修学校専門課程含む) ⇒月額60,000円以内 大学 ⇒月額65,000円	卒業後 6ヶ月以内	20年以内	無利息
就学支援費	50万円以内			

◎特に必要と認める場合に限り、貸付上限額の1.5倍まで貸付可能となります。また、世帯の状況により貸付額や返済期間が異なります。詳細は社協までお問い合わせください。(☎026-248-9977)

介護職員募集

平成29年4月1日付採用予定の常勤(正規・嘱託)職員を募集します。

職種	・介護支援専門員	週5日勤務(8:30~17:15)
勤務時間等	・特養介護支援専門員・介護士	シフトによる(夜勤有)
	・通所介護(デイサービス)介護士	シフトによる
資格	正規職員 介護支援専門員かつ介護福祉士資格を取得又は見込の者	若干名
	嘱託職員 初任者研修(旧ヘルパー2級)以上を取得又は見込の者	若干名
待遇給与等	本会規定による	
応募等	本会事務所に備え付けの申込書に必要事項を記入の上、1月16日(月)までに応募して下さい。	
試験等	平成29年1月下旬予定(応募者に別途連絡します)	
問合せ先	庶務係 担当小林まで 026-214-2997	



平成29年1月1日第374号(毎月1回1日発行)

発行人 社会福祉法人須坂市社会福祉協議会 長野県須坂市大字須坂4-76-1

☎026(245)1619 FAX246-0054 印刷 佐藤印刷株式会社

秘密 厳守

日常生活の悩み・法律に関する心配ごと相談所

相談 無料

①日常的な悩み・心配ごとの相談(専門相談員)

相談会場	相談日	相談時間
まいさぼ須坂 026-248-9977	月曜日～金曜日	午前9時～午後5時 (随時)

②法律に関する相談(無料・完全予約制)

相談会場	相談日	相談時間
すざか女性未来館 (中央公民館)1階相談室	12日(木) 26日(木)	午後1時～4時

※弁護士がご相談に応じます。お一人20分以内です。
※完全予約制 電話 026-248-9977

③結婚相談所(無料・完全予約制)

相談会場	相談日	相談時間
須坂市社会福祉協議会	15日(日)	午前9時～12時

●あたたかなご厚志に●
●感謝いたします。●

- 匿名様 書き損じはがき他多数
- 西尾美貴子様・佐藤とみ江様・北沢昭様 6,000円
- ふれあい木綿の会様 清拭布多数
- 渡辺 貞代様 布多数
- 匿名様 デジタルカメラ
- 卯之原 武治様 タオル多数
- 田中 袈裟治様 おむつ他多数
- 大羽 久敏様 プルタブ多数
- 匿名様 5,000円
- …11月15日～12月14日 受付分です…

ご意見ご要望をお寄せ下さい。 ☎(026-214-2997)・FAX(026-246-0054)・
メールアドレス(cocoro@suzaka-shakyo.jp)・ホームページURL(http://www.suzaka-shakyo.jp)